



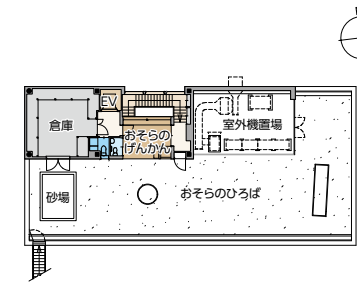
レイモンド西淀保育園

大阪市西淀川区
設計・監理／ちびっこ計画・大塚謙太郎一級建築士事務所
施工／西田工業

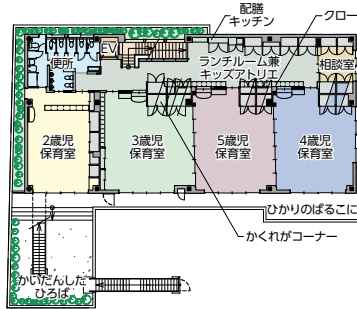
上／全景 中／おやねのひろば 格子戸を開ければ、園庭と一体化するピロティ 下／おはようほーる



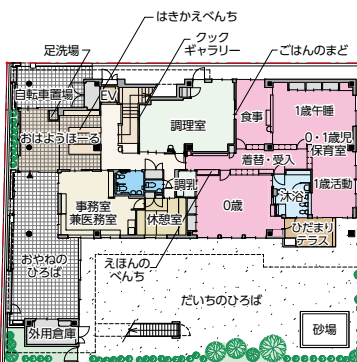
左上／ランチルーム兼キッズアトリエ 右上／1歳児保育室 右の小窓は、隣の調理室につながる「ごはんのまど」 左下／幼児動線上に設けた、階段踊り場の「クックギャラリー」 中下／屋上園庭の「おそらのひろば」には土を載せた* 右下／押入れ下を利用した「かくれがコーナー」から以上児保育室を見る 園児が自分で制御できる照明を設けた。保育室間を仕切る建具の一部は、磁石掲示板として使用できる*



3階平面図



2階平面図



配置・1階平面図 縮尺1/600

床をえらぶ

新しくなった園舎を汚さないようにという気持ちから、つい子どもたちの行動に制約をかけてしまい、保育が窮屈になることがある。園舎は汚してなんぼである。きれいに使われるのはうれしいことだが、本末転倒では良くない。節や年輪、柔らかな肌触りと断熱性、子どもたちに本物のもつ多様性にふれてもらおうと、保育室の床に表情豊かな杉の厚板を使った一方で、どんどん汚せる部屋も設けた。清掃の容易なビニル床シート貼りの「ラ

ンチルーム兼キッズアトリエ」では、食事やクッキング、製作遊びなど、多様なメニューに対応できる。また、「だいちのひろば」と連続する半屋外の「おやねのひろば」は、床をタイル貼りにし、壁に光触媒による浄化作用のあるサイディングを用いて、絵の具や水などを多用する遊びを大胆に展開できるピロティ空間とした。乳児保育室内には食事コーナーを設けて乳児の食糞分離を行い、他の生活空間より清掃しやすいビニル床シートを選んだ。食べ物が床に散乱しがちな時期

に、食べる喜びを思いきり感じられる保育ができる。その他、「クックギャラリー」では加熱調理の様子が見られたり、2階と3階の屋上に土を載せた「おそらのひろば」、弱視でも昇降しやすい階段の色分け、収納下を利用した「かくれがコーナー」を設け、時々気持ちによって居場所を選べるようにするなど、いくつかの工夫を盛り込んだ。用途に応じた材料の選択や設えが保育の制約を取り払い、子どもたちの豊かな生活につながっていく。(大塚謙太郎／ちびっこ計画・大塚謙太郎一級建築士事務所)

社会福祉法人檸檬会 レイモンド西淀保育園 データ
所在地 大阪市西淀川区大野3-7-25
主要用途 保育所
建築主 社会福祉法人檸檬会
設計・監理 ちびっこ計画・大塚謙太郎一級建築士事務所
担当／総括：大塚謙太郎 建築：山本幸司
構造 K S 構造設計事務所 担当／金田興熙
電気 角田設備設計 担当／角田英城
機械 MY 建築設備設計 担当／山本正美
積算 藤本建築積算事務所 担当／藤本 伸
施工 西田工業
担当／牧之内亮、林愛十夢



大塚 謙太郎……おおつか けんたろう
1974年兵庫県生まれ。佛教大学文学部史学科東洋史専攻、中央実務専門学校建築設計科卒業。TeamZOOいるか設計集団を経て、2008年ちびっこ計画・大塚謙太郎一級建築士事務所を開設。一級建築士、保育士

設計期間 2015年7月～2016年11月
工事期間 2016年12月～2017年7月
【建築概要】
敷地面積 689.88㎡
建築面積 393.87㎡
延床面積 728.11㎡
建ぺい率 57.10% (許容60%)
容積率 105.55% (許容200%)
構造規模 S造 地上3階
寸法 最高高さ／10.08m 軒高／9.68m
道路幅員 4.62m
地域地区 準工業地域
【施設概要】
定員 120名(0～5歳児)
【設備概要】
電気設備 受電方式／高圧受電
空調設備 空調方式／電気ヒートポンプ
衛生設備 給水／直圧 給湯／局所式 排水／下水道放流
防災設備 消火／消火器 排煙／自然排煙

昇降機 小規模建物用
【主な外部仕上げ】
屋根 アスファルト防水、押えコンクリートの上、真砂土
外壁 窯業系化粧サイディング
【主な内部仕上げ】
保育室 床／杉板の上自然塗料 壁／ビニルクロス 天井／化粧吸音石膏ボード

撮影／角悠一郎
※印撮影／大塚謙太郎一級建築士事務所

協力会社			
杭 工 事	三 隆 産 業		
鉄 骨 工 事	谷 村 実 業		
アルミ製建具工事	Y K K A P		
排煙窓オペレーター	豊 和		
厨房機器設置工事	北沢産業	大阪支店	